

こども記者、活躍中です。

信濃毎日新聞にのっている「信毎こども新聞」(日曜日)のページでこども記者の記事が登場しています。

安曇節劇で紹介へ

松川村6年 西山礼樹君



君は、村民手作りの劇「安曇節ものがたり」、佐久市の小学5年小山あさひさんは、自分が通っている「上田まんがクラブ」について取材しました。

皆さん、緑豊かな松川村を知っていますか。松川村には、有明山や自然、田畑の移り変わりを歌った「安曇節」という民謡があります。松川小学校では安曇節の踊りを練習していて、みんな踊れます。安曇節は、村の医師、樺葉太生さんが大正時代、安曇地方

を象徴する民謡がないことを残念に思い、作った歌です。今年、村に「すずの音ホール」という多目的交流センターができました。その完成記念で、村のみんなが大切にしている安曇節や樺葉さんのことを「安曇節ものがたり」という劇にして発表することになりました。村の人が約二百人出演し、僕たち小学生も子どもの役で十五人出ます。ほかの六年生も安曇節を大人と歌います。

村の人気持ち一つに



衣装を着て、「安曇節ものがたり」の練習をする松川村の小学生たち

練習は土曜日などに行っています。僕は、がき大将役です。「おめえたち」という、いつも使わない古い感じがするセリフがあつて最初はおかしく思っていました。六

年生の横山菜々子さんは「セリフを覚えるのが大変だったけど、こつをつかめてよかった」と話してくれました。台本を担当した一人、山崎圭子さん(64)は「村の人が安曇節をこれからも歌い続けてほしい」と書いたそうです。消防団員役で出演する消防団の人は「村の人たちが精いっぱい演じているところを見てほしい」と話しています。六月二十八日はいよいよ本番。樺葉さんの思いを大切に、気持ちを一つにして、すばらしい公演になると思います。(公演は午前十一時と午後三時。すずの音ホール ☎026-1-62-2481)



「春に上田まんがが大学、夏にアニメを作るサマースクールをやってきましたが、もの足りないと思います、二〇〇五年にクラブも始めました」

今回は、「信毎こども記者」の2人が、身近な話題を取材して、「むちゅうねっちゅう」の記事を書きました。北安曇郡松川村の小学6年西山礼樹

上田のまんがクラブ

佐久市5年 小山あさひさん



私が四年生の時から通っている上田まんがクラブは毎月二回、上田市マルチメディア情報センターでやっています。私のしよるの夢は、一番はまんが家です。クラブのことを取材しました。クラブのことは楽しいことです。うまくかいてもらえるように、みんな

上達法 毎日かくこと



集中してまんがを描く子どもたち。みんな、ずっと下を向いて、しゃべらずに取り組んでいる

ながうんざりしないよう気を付けています。先生は上田市内のアニメ制作会社に働いていて、今は「鋼の錬金術師」などの絵をかいているそうです。それ

れを聞いて、頭が真っ白になりました。私の大好きなアニメをかいている人が近くにいると知り、感動しました。二年目の上田市川辺小五年の佐藤くるみさんは「おもしろいまんがを自分でもかいてみたい」。今年初参加の上田市南小五年の上原拓也君は、私と同じで「ギャグまんがをかいてみたい」と言います。ベテランの中学三年のお姉さんに上達方法を聞いたところ「毎日かくこと。コツコツやれば、上達するはず」とアドバイスをもらいました。「私に不可のうはない」と自信が持てるくらい、まんががうまくなりました。

こども記者の記事大募集!

「信毎こども新聞」にのせるこども記者の記事を大募集しています。記事を書きたい人は、自分が書きたいテーマと住所、名前、学年、電話番号を書いて、信濃毎日新聞地域活動部へ手紙(〒380-8546長野市南県町657)か、ファクス(026-236-3193)で教えてください。後日、信毎の記者が電話します。みんなからの応募を待っています。友だちにも声をかけてみてね。●問い合わせ/信濃毎日新聞地域活動部 TEL026-236-3110

「信毎こども記者ニュース」はこども記者に向けて随時発行していきます(無料)。こども記者に応募してくれた人に刷り上がり次第郵送しますが、記者ニュースのみ希望もOKです。希望者は「信毎こども記者ニュース希望」と書いて、信濃毎日新聞地域活動部へハガキかファックス(上記)、電子メール(e-chiik@shinmai.co.jp)で連絡ください。

信濃毎日新聞社を見学しませんか?

●信毎の長野本社で、記者たちが実際に働いている様子を見てみよう! 参加人数は1人~家族・クラス・学校単位でもOK。見学時間は平日10:00~15:00(土日祝・年末年始を除く)。見学は無料。事前に予約が必要です。【長野本社見学の申し込み】信毎読者センターTEL026-236-3215 ●長野と塩尻の製作センターでは、夕刊を大きな輪転機で印刷しているところを見てみよう! 【製作センター見学の申し込み】長野TEL026-286-6700 塩尻TEL0263-54-5330

